

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	指定通所支援こあらっこ(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R8年1月4日		～ R8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	R8年1月4日		～ R8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・1人ひとりの発達段階・特性に応じた個別療育を中心に支援を行っている。 ・個別支援を基盤とし、他児との関りや集団活動へ無理なくつなげる専門的支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて発達検査を行い子どもの日頃の様子と検査結果を照らし合わせ特性から考えられる認知面の強さ、弱さを関連付け日々の支援を考えている。 ・専門的スタッフが在籍し、多職種の視点を活かした支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き職員間でのケース検討や情報共有を強化し、支援の質の向上を図る。 ・専門的知識・技術の向上を目的とした研修や勉強会への参加を積極的にしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・広い訓練室で遊具が数多くある。運動器具を活用しサーキット運動や粗大運動を取りい入れ心身の発達や情緒の安定を支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1か月に1回はサーキットコースを組み換えを行っている。 ・お子様の年齢や発達段階に応じてコースや内容を調整している。 ・他児と関わる機会を取り入れ、順番待ちやルール理解につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレス発散や情緒安定につながる運動要素を今以上に意識的に取り込んでいく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のスケジュールや時間を視覚化し見通しを持っての行動や気持ちの切り替え等スムーズに行えるようにしている。活動前には部屋にルールを視覚化しいつでも確認できる状況にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の理解・表出にかかる課題への対応として、絵カードを直接手渡してコミュニケーション(代替、補助コミュニケーション)を図る事で自発的なコミュニケーションを促していく。 ・視覚支援や教材の工夫を進め、より分かりやすい環境を整える。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルの整備や職員研修・訓練は実施しているものの、その内容や取り組みについて保護者様へ十分に周知できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内に各種マニュアルのファイリング・共有は行っていたものの、保護者様がそれらを目にする機会が少なく、十分な周知に至っていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様が来所時に確認できるよう、掲示を行う。 ・面談やチャットで「こあらっこ通信」を通じて、事業所の取り組みを定期的に周知する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の個別支援を優先する中で地域との交流活動に十分な時間や機会を確保できていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係機関や施設との情報交換を行い、連携の可能性を広げる。
3			